



## 「お隣との間に大和張りの塀を造りました。」

大和張りとは、昔からある板塀の一種で、目線を遮りながら通風を確保出来るように表・裏に板をずらしながら張っていく工法です。昔は杉板を縦に使う形が主流でしたが、今回は洋風の建物に合わせて、桧材を横張りにしました。

ウッドデッキの目隠しは同じ桧材を使って縦格子にしました。外から視線を気にすることなく、リビングやウッドデッキで寛ぐことができます。



掲示板

## 「地域感謝デー」のお知らせ

5月19日(日) 10:00~15:00

包丁研ぎ／まな板削り／端材／焼きそば／その他





### ちょっと上品なベーグル「アカシアベーグル」



ベーグルというとドーナツ型が一般的ですが「アカシアベーグル」さんのベーグルはまん丸です。もちりとした生地、こだわりの具、ずっしりと重いのが特長です。

開店は2018年1月。広く宣伝しなくても、閉店前に売り切れてしまうこともある人気店です。安心安全な食材を季節毎に取り入れ、種類豊富に作られているので、小さなお子さんを連れたママ達も、次々訪れています。今年は、地域のイベントにも数多く参加されるそうですし、通販もされているので、お気軽に購入可能です。一度是非、お試ください。お気に入りの一品が見つかると思います。



アカシアベーグル  
東京都小金井市貫井北町1-7-22 ハイソコジマ101 電話:042-316-6888  
定休日:月曜日・火曜日 営業時間: 11時~18時半

— 住まいの玉手箱 —

秦野市山本邸



p3-5 里山盆地の終の住処で、私の実践

p2 住まいの玉手箱

p6-7 みんなのコラム —私の失敗談—  
Moriya 人・紹介  
p8 守屋はまちの大工さん  
掲示板  
Morīyaナビ「アカシアベーグル」

(株)守屋工務店 〒184-0015 小金井市貫井北町5-21-2 TEL 042-322-5438  
E-mail: info@moriyakoumuten.com  
http://www.moriyakoumuten.com





照明器具は天井の真ん中にひとつというイメージがありませんか？  
照明を工夫することで部屋の雰囲気がガラリと変わります。

## 照明の工夫で空間に魅力のある演出を！

### 光の色

人間は太陽光の下での物の見え方を最も自然と感じます。人工の光の下では本来の色と違った色に見えてしまうことがあります。太陽光で見た色に近い程「演色性が良い」と表現します。食卓では、演色性の良い明かりを使うと美味しい料理がいっそう引き立ちます。

### 光の配置

お部屋の天井にひとつの照明では単調で印象が薄くなりがちです。主照明と補助照明の「一室多灯」で雰囲気を演出することが出来ます。ダウンライトやソファの横のフロアスタンド、壁を照らす間接照明などは、お部屋に立体感や広がりを感じさせてくれます。

### 光の影響

明かりの種類は人間の体の機能を司る自律神経にも影響を与えます。青い光は活動を促す交感神経を刺激し、作業や勉強に集中できます。オレンジ系の光は心身を休めてリラックスします。就寝前の1～2時間をオレンジ系の光の下で過ごすると良質な睡眠につながります。

### 調光・調色

LED照明器具が主流になっていますが、その中にリモコンで調光や調色の出来る器具が増えています。ひとつの照明でも、明るさも色味も調節することが出来るのです。その時の気分やお部屋の用途に合わせて光を変化させ、演出だけでなく省エネにも貢献します。

### 新製品

照明器具に色々な機能が加わったものが発売されています。

- ・音楽スピーカー付電球(スマホの音楽を・・・)
- ・声で入・切の操作ができる照明
- ・消臭や空気清浄機能付の照明など

### 新築

秦野市山本邸

## 里山盆地の終の住処で、私の実践



自分達らしい暮らしぶりをそっくり住まいの形にしました

山本さん御夫妻が新築された、里山盆地の「終の住処」は、建築家であるご自身の家づくりに対する想いを実践された住処となりました。

山本厚生さんのお住まいを＜生き方・暮らし方＞＜住まいの特徴＞とともにご紹介します。



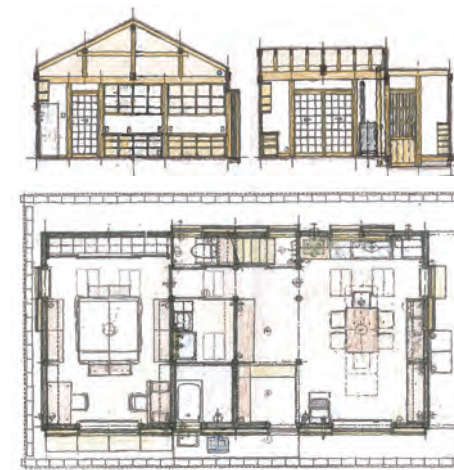
建築に携わった職人ひとりひとりの名前が書かれた杉板をながめる山本さん



山本さん手描きの文字と図面

### 住まいの特徴

- ① 素朴でやさしい職人技の「おづくり」の家  
「便利でお得な製品」不要
- ② 場面毎の好きな居場所と心持たず  
単純で豊かな架構と間取り
- ③ 構えずに開け放ち  
土地柄に馴染む  
気配を感じて気ほりできる
- ④ 足りないものは手づくりで



### 生き方・暮らし方

- ① 自分好みの暮らしぶり  
押し付けは無用
- ② 地元に親しく  
心の通うつながりを
- ③ 自然を満喫  
生命の共存



## ① 自分たち(住み手)好みの暮らしぶりの家



自分たちがどのように動き、座り、寛ぐか好みや癖も明らかに



建具はすべて引戸とし、いつでもどこでも気配を感じてくくばりできる住まい



## ② 里山盆地の土地柄に馴染む家



この地が終点 ここが終の住処



北を閉ざし、南を開け放して軒下にアプローチを作り、地域社会に親しく繋がる家



冬はペレットストーブ1台で十分、夏は冷房なし



照明は「もち網」と「障子紙」で、引き出しは「段ボール」で手作りました



2階は「ぶらり」と訪れたお客様が泊まれる部屋

## ③ 自然素材と伝統工法の手づくりの家



キッチンもメーカーのシステムキッチンを使わず、業務用のシンクを使用



ユニットバスを使わない浴室  
夜、障子を開けると湯船に月が…



雨戸から硝子戸、網戸、障子までアルミサッシは一切使わず、すべて建具屋さんの手づくり



山本様ご夫妻と担当の守屋辰彦



筋交い、金物、合板なしの貫工法の家  
確認申請が取れるまで粘り強く役所とやりとりしました



## ④ 「シンプル・イズ・ベスト」でまとめた家



寝室は、衣類・書類を左右対称に配置「単純明快な構成」

### 担当者コメント

今回の工事で私どもスタッフすべてが、山本先生に住まいの原点、根本的な理念についてたくさん学ばせて頂きました。

間取りの取り方は住み手の動線をすっきりさせると同時に、陽の光や自然の風をしっかりと取り入れ、かつ構造的に安全であること、すべてを満足する設計でした。地域の環境に馴染むために、外と内との関係を密に保つことでした。お客様が来られても呼び鈴などを押す必要がなく、すぐにその空気を感じることが出来、訪れた方が気持ちよく導かれ、自然な受け入れが出来るづくりです。日本の民家のあり方、地域とのかかわり方が感じられます。工法的にも金物を使わず、貫工法にて耐震性を確保しているため、山本先生もいろいろな場面でご苦労があったかと思います。ご協力くださった長野智雄先生と一緒に解決されたことに感謝いたします。(守屋)



## 「お昼寝していたと勘違いして…」

社長  
守屋辰彦



中学時代に、週3回夜7時～9時まで、通っている中学校の体育館で柔道を習っていました。夏は柔道着を家で来て柔道一直線の影響で下駄をはいて通っていました。2年の夏のある日、学校までは30分かかる為、ちょっと早めの6時過ぎに家を出てランコロン鳴らしながら学校に近づいた頃、いつも仲間に会わずが、誰にも会いません。校門も開いているはずが開いていません。しばらく校門の前で待っていましたがふとあたりがだんだん明るくなっていくことに気が付きました。朝の7時でした。あわてて家に帰り制服に着替えて出直しましたが、戻る途中、早く出る友達に会ってしまい二度見されたのを今でも忘れません。

# みんなのヨラム

## わたしの失敗談

### 「お恥ずかしい限り」

そそっかしい私は、日々小さな失敗談はあります。10年程前、朝の家事を済ませ出勤途中のこと、駅を降りエスカレーターを颯爽と降りていたつもりが…。滑って尻餅をついてしまいました。恥ずかしさに何事も無いよう取り繕い改札口を出たのですが、会社に着いて、ホッとしたら余計に痛くて痛くてとても辛かったです。以降、エスカレーターは使わず、階段を降りるようになりました。健康のためにも、周りに迷惑をかけないためにも慌てず余裕を持って行動するよう、気を付けようと思います。



設計  
井上佐智子

### 「ヘルプ・ミー事件」

私が車の免許を取ったばかりの時の事です。街道沿いのパーキングに車を停めようとしたのですが、ちょっと狭くて「入れられるかな〜？」と思いながらやってみようと思ってバックで入れ始めたのですが、途中からどうにもならなくなって前にも後ろにも動かせなくなり……信号待ちしていた軽トラックの助手席の硝子を押いて助けを求めました。その運転手さんは、わざわざ路肩に車を停めて私の車に乗り込み、難なく定位置に車を停めてくれました。ひたすら感謝、感謝でした。今でも車庫入れは苦手です…。



現場担当  
大森勝夫

### 「ブレーキとアクセルの踏み間違い」

今、世間では高齢者によるオートマチック車の事故が多発しているが、自分も若かりし頃に事故を起こしそうな事があった。40年前位になると思うが、駐車場からバックで出る時にブレーキとアクセルを踏み間違えて、立ち話をしている二人の人を跳ね飛ばすところだった。若いから、高齢者だからじゃなく、車は走る凶器というぐらいなので常に気をつけることが大事であると思います。



経理  
守屋祥子

営業部長  
今井治彦



### 「嘘のような本当の話」

若かりし頃の相当昔の話です。田舎から東京に出てきたばかりで、右も左も分からない時、友達とボーリングする約束で立川駅の北口の広場で待ち合わせ。当時街頭テレビの盛んな時で、特に力道山のプロレス中継は黒山の人だかりでした。応援合戦…気が付けば待ち合わせの時間を1時間も過ぎ、10m先に友達も応援合戦に加わっていた。お互い顔を見て笑うしかなかった。何かに夢中になれる当時は懐かしい。

### 「洗濯機に…」

つい最近の出来事で、朝、洗面所の方から妻の叫び声が聞こえました。洗濯機から出てきたよと渡されたのが会社の携帯電話で思わず凍りつきました。ポケットに入れたまま洗濯機に投入したようで、洗濯・すすぎ・脱水・乾燥までのフルコース。画面にヒビが入り見えないものの電源が入り通話出来た事に、乾燥が効いたかと驚きと感心…してる場合ではなく、次回同じことが無いように気をつけます。



工事課長  
立花慶次

### 「坊主事件」

髪を切りたいな～と思っていた時、自分で切ってもうまくで出来るという自信があったので、バッサリ切ってみたところ、案の定トラガリになり、坊主にしました。今は、ちゃんとプロに切ってもらってます！



大工  
平澤 拳

## 「失敗は成功する為の通過点である」

失敗こそが成功の源である。喜んで大いに失敗すべきである。失敗に気が付き、その時点までやって来た事は成功と思えば実に楽しいものである。失敗を大いに重ねれば結果は大いなる成功で有る。その失敗こそがその人の宝である。沢山の失敗は大いなる宝の山の持ち主となる。

その道を極める人は失敗を恐れず、常に失敗を重ねて頂点を極めるものである。失敗すれば成功した人の心が解かる。

得るは捨つるに有り（捨我得全）

（常に恐れず 失敗に向かって挑戦 挑戦 また挑戦）



会長  
守屋辰雄

### 「めがねが2つ?!」

ある日、ふと鏡に映った自分を見て違和感が…よく見ると眼鏡が2つ？普通にかけている物の他に、額の上にもあるのです。これは…どういうこと？！

少し前の記憶をたどってみると…

(1)小さな字を読む為に眼鏡をかける→(2)不要になり額にのせる→(3)その事を忘れる→(4)また小さな字を読む為に“別の”眼鏡をかける…こうして『眼鏡の2つがけ』が出来たのでした。ああ、家で気付いて良かった！



設計・営業事務  
笠原雅子

## Moriya

### ひと紹介

### 大久保 勝行さん(上進興業)

肝が据わってます！ 元気な水道屋さん



建築現場の配管工事から水漏れ、トイレのトラブルにも迅速に対応してくれる水道屋さんです。実家がお風呂屋さんだったこともあり、水繋がりでの道に。どんな時もお客様のことを考え、労を惜みず一生懸命。うまくいかないことがあっても動じないので、仕事仲間から頼りにされ、水漏れなどの緊急時には大久保さんの冷静な判断で、お客様が落ち着きを取り戻し、ホッとされます。

「正直・真面目・素直」の三拍子揃った人柄でユーモアたっぷり。大柄な体から出る声も大きくてよく通り、1キロ先からでも聞こえそう！(笑)大勢の職人さんの中でも目立ちます。

お酒もたばこもやめて、筋トレに励む毎日です。ますます健康！ 力仕事も多いですが、「仕事をしながら体を鍛えられるなんて、こんな幸せなことないよ」の言葉から大久保さんのお人柄がわかります。